

仕事名：機械系エンジニア

児童の皆さん、「巨大空気砲を作ろう！」のお仕事体験は機械系エンジニアに関係します。機械系のエンジニアは、ロケットや飛行機、船、自動車などのものづくりをするお仕事です。例えば飛行機でお話すると、まず飛び立つためには①「強力なエンジンの開発」が必要です。次に、飛行機は軽くかつ丈夫に作る必要があるので、②「軽くて強い材料を使って、しっかりとした構造」にする必要があります。また、飛び立ったら空気中で安定に飛行し、目的地に向かっていくために、③「制御」する必要があります。さらに、高速で空気中を移動するためには、④「空気抵抗の小さな形であるとともに、機体を浮かせる翼」も必要です。それ以外にも、部品を正確に作る技術や、きちんと組み立てる技術など、様々な専門を総合する必要があります。空気砲は④の専門分野に関係します。機械の好きな人は、これらのことは知っている人も多いかもしれません。しかしながら、皆さんの周り（生活全て）を思い浮かべてください。例えば、冷凍食品やお菓子、医療機器や薬、介護・福祉機器、おもちゃ、洋服、水、電気、ガソリン、化粧品、トイレ、家・・・、いろいろなものが身の回りに無数にあると思います。これらの多くの部分で機械がその製造に大きく携わっています。世の中のものづくりには、必ず機械系エンジニアのサポートが必要です。また、それらを製造する機械は、どのような動きでどのような手順や方法で作るのかを「デザイン」する必要があります。様々な分野で、環境に配慮しながら人の役に立つものづくりに貢献するのが私たちの仕事です。もし、将来、何かを作りたい、何かのものづくりに携わりたいと思っている人は、一緒にものづくりをしませんか？

